

## 二つの浮御堂

洞爺湖には、湖に浮かぶ観音島の近くと旧洞爺村の2か所に浮見堂があります。そのうち、朱塗りで三層構造の前者は昭和34年に当時の万世閣館主が私費を投じ、舟の安全を願って白竜神を祀ったもので、



もう一方の旧洞爺村側の浮御堂には聖徳太子の像がまつられている。平成15年には落雷があつて翌年の7月に再建された。

旧洞爺村の浮見堂に聖徳太子の像が祭られるようになったのかと言いますと・・・昔、一人の僧侶が旅の途中で、当時、旧洞爺村屈指のある資産家に宿を乞い、ちょうど1ヶ月ほどたった日、その僧侶が肌身離さず持っている聖徳太子の像を主人に「大事に祀ってくれたらこの地は必ず産業が栄え、豊かな村になる」と贈り大変喜んだ主人は、大事に祀ることを約束しました。この像が、浮御堂に祀られている聖徳太子の本尊です。